

■ポートフォリオ評価のためのルーブリック（評価基準表）

- (1) ルーブリックは「評価基準表」とも呼ばれるもので、本講義では皆さんの「ポートフォリオ（講義資料などをファイルした学習記録のこと）」を評価するために使います。
- (2) 本講義では、レポート課題の代わりに、ポートフォリオを提出します（本講義の最終評定 100 点満点中の **15 点分の課題**に相当）。
- (3) 表をよく見て「どのようなポートフォリオが評価されるのか」を理解し、毎回の講義や授業外学習を行ってください。自分の学習の質を高めるために役立てましょう！

観点（規準）	観点の説明	優秀（素晴らしい！）3点	標準的（まあまあ）2点	もう少し（残念）1点～0点
資料の有無	ポートフォリオが学習の振り返りのための書類として機能するための前提として、資料の有無を見る項目	配布された講義資料や補足資料、返却された提出課題やワークシートなどがすべて揃い、ファイルされている（欠席した回の資料も追加され、揃っている）。	自身が出席した回の講義資料や補足資料、返却された提出課題やワークシートは、揃っているが、欠席した回など一部（1割～2割程度）に不足がみられる。	資料を紛失している、ファイルしていない、欠席が多いのに補充していないなど、資料に多くの不足がある（全体の7割程度しか、揃っていない）。
整理・順序性	学習の振り返りを行いやすいように、資料が見やすく系統的に整理されているかを評価するための項目	ファイリングされている資料が何らかの規則性をもって整理されており、見やすい状態となっている（例：講義回ごとに整理、講義資料と提出物別に整理、など）	資料が、単純に配布・返却された順番にファイリングされている状態。	資料が系統立って整理されているとはいえない（例：順序がバラバラのため見にくい、そもそも資料に不足が多く整理できる状態にない、など）。
学習記録	授業時間内における学習の状態を評価するための項目。各回における学習への取り組み状況を評価	資料の空欄部分（キーワード）の穴埋めができており、さらには板書やスクリーンのメモが残されている。また、自身の言葉によるメモ等、指示された以上の学習がある。	資料の空欄部分（キーワード）の穴埋めや指示された箇所に板書等のメモが残されている（指示された最低限の学習はある）。また、一部に記入漏れがみられる。	資料の空欄部分（キーワード）の穴埋めや指示された箇所に板書等に記入漏れや空欄が多く、授業内での学習が適切に行われていたのかを資料から確認できない。
独自性・工夫	教員によって指示された以上の学習が授業時間の内外において行われているかを評価するための項目	ポートフォリオに次のような工夫がある。 ・マーカーや付箋などで見やすくしている。 ・自筆ノートがファイルされている。 ・その他、自学自習の証拠となる書類がある。	/	特に工夫や独自性はないが、教員に指示された内容のポートフォリオにはなっている。
保存性	学習の記録（証拠書類）として長期保存でき、振り返りができる状態にあるかを評価するための項目	資料がファイリングされており、なおかつある程度きれいな状態（振り返りのための学習記録として適した状態）で保存されている。	資料はファイルされているが、振り返りのための書類として、保存状態があまり良くない（例：全体的にぐしゃぐしゃ、一部に汚れや破れがあるような状態）。	ファイリングされていないため、学習記録としての保存性がない（ホッチキス等で止めているだけ、あるいはクリアファイルに挟んでいるだけの状態）。

■教員記入欄（コメント等）

得点

点